

建設産業に対する イメージ向上

— 学生の現場実習等 —



現場実習

- 建設産業に対し、「危険」「汚い」「きつい」といった、いわゆる3Kという悪いイメージがある。



- 土木関係学科の高校生・専門学校生を対象に、建設現場実習を実施することにより、イメージアップを図っています。

- 実習前と後で、建設産業に対するイメージについてアンケート調査したところ、参加した約8割の学生が、建設業に対するイメージが良くなったという結果となりました。

	建設産業に対し 良いイメージを持つ学生数	実習参加者(93名) に占める割合
実習前	18人	約2割
実習後	75人	約8割

- 現場実習の他にも、建設フェスタや現場見学会の開催、中学生を対象としたログハウスの建設体験など、建設産業の魅力を知ってもらうための事業を実施し、イメージアップを図っています。



建設フェスタ



現場見学会



建設体験